



議会だより

Vol.114



一生に一度の大切な日を迎え、緊張の中にも笑顔が溢れていました

目次

1. 新年のあいさつ／二十歳を祝う会・・・ P2～ P3
2. 選挙に対するアンケート調査・・・ P4～ P5
3. 一般質問・・・ P6～ P9
4. 委員会報告／定例会のあらまし・・・ P10～ P11
5. 委員会活動／要望活動・・・ P12～ P13

謹賀新年



田子町議会
議長 澤口 勝

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

町議会を代表して一言ごあいさつを申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症への対応が変化し、動き出した年でもありました。

しかし、燃油・物価高騰等まだまだ乗り越えなければならぬことがあります。田子町を担う新たな力の為に、今、私たちが出来ることに精一杯、取り組んでまいります。

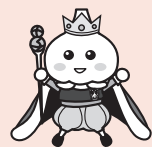
その為には町民の皆様の声を真摯に受け止め、町政をしっかりと監視し、良いところは丸となり、安心して心豊かに暮らせる田子町の実現を目指しますので、さらなるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新春のごあいさつとさせていただきます。

将来の夢へ一歩ずつ成長を誓う





新年を迎え新たな門出



ふるさとかから大人の一步を



1月8日、中央公民館で二十歳を祝う会を開き、対象者48人（男性22人、女性26人）のうち35人が出席。山本町長、澤口議長が激励の言葉を頂き、二十歳を代表して中平楓人さんがお礼の言葉を述べた。

式典後、田子小卒業生は、6年生時に二十歳の自分に宛てたメッセージや写真などを入れたタイムカプセルを開封し、当時の自分に思いをはせた。（尾形 憲男）



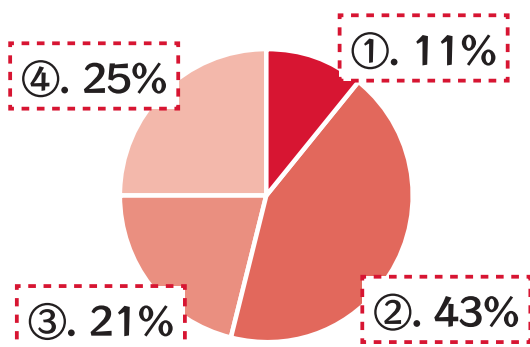
「選挙に行くと思う」中学生は89%、二十歳は72%

成人年齢が引き下げられたことにより、18歳から投票できるようになりました。
若い世代が選挙について、どんな考えを持っているのかアンケートを実施しました。

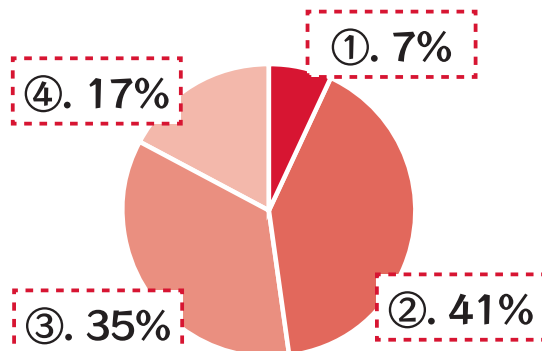
Q1 あなたは、選挙が行われているときに、それに関する報道をテレビや新聞で見たことがありますか。

- ①. いつも見ている。 ②. たまに見ることがある。
③. あまり見たことがない。 ④. まったく見たことがない。

中学生



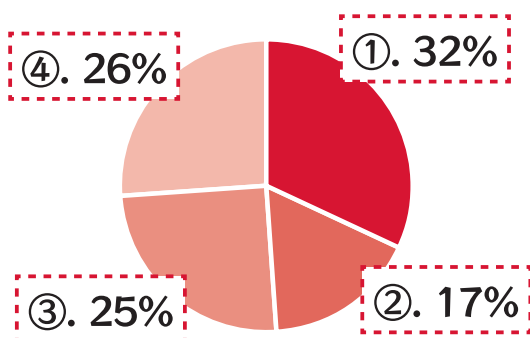
二十歳



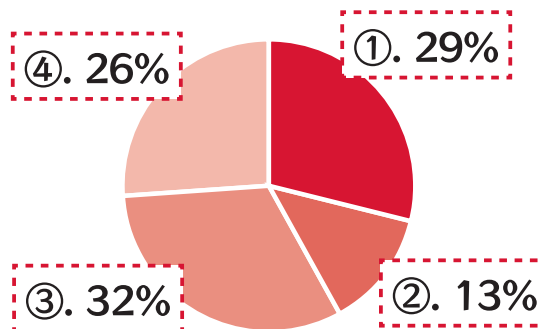
Q2 家庭や学校で、話題になることがありますか（複数回答可）。

- ①. 選挙について話したことがない。
②. 学校で先生が実際の選挙について、授業などで取り上げたことがある。
③. 友達と選挙について話したことがある。
④. 家族と選挙について話したことがある。

中学生



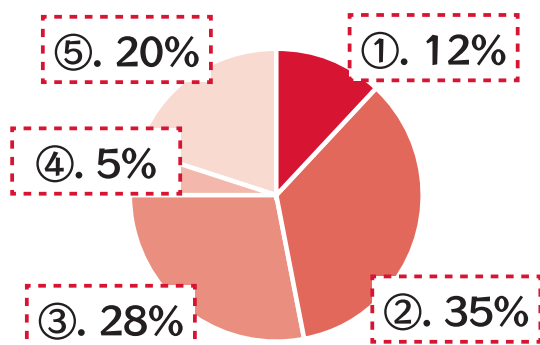
二十歳



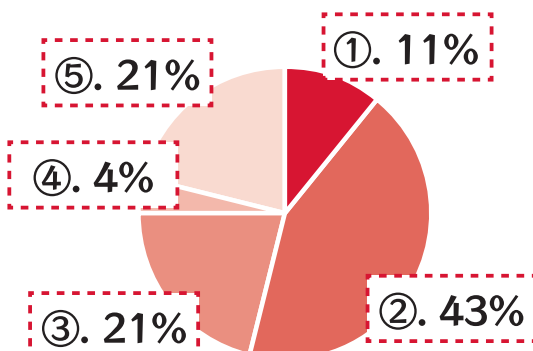
Q3 自分自身の生活と選挙結果と関わりがあると感じたことはありますか。

- ①. 強く感じる。 ②. 多少は感じる。 ③. あまり感じない。
④. まったく感じない。 ⑤. わからない。

中学生



二十歳

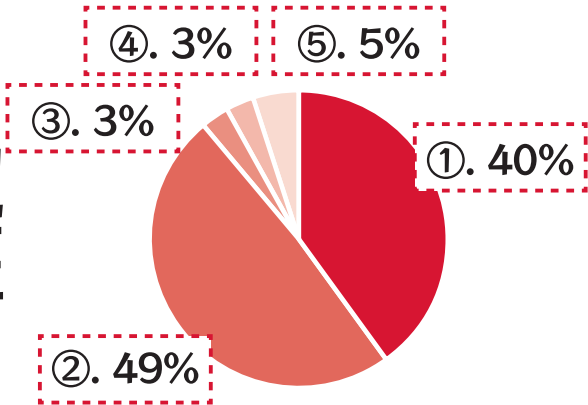


Q4 あなたは選挙権があれば投票に行こうと思いますか。

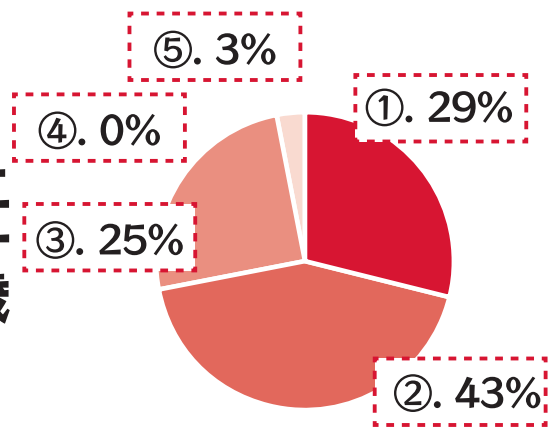
- ①. 必ず行こうと思う。 ②. できれば行こうと思う。
③. あまり行こうとは思わない。 ④. まったく行こうとは思わない。
⑤. わからない。



中学生



二十歳



Q5 あなたが田子町に住んでいて「もっとこうなればいいのにな」と思うことはありますか。

- ・ イベントを増やして欲しい。
- ・ 空き地が多く見られるので、そこに子ども達が気軽に遊べる場所が欲しい。
- ・ 車がないと移動できないのは不便。
- ・ バスの本数が多くなれば便利。
- ・ お店を増やした方が良くと思います。理由は、お年寄りがたくさん居て少し出かけるのも、きつい人もいるから。
- ・ 田子高校の施設をトレーニングセンターのように使えと、中学校で雨の日に部活動をする時に十分なスペースが無いときに役立つ。



※その他、たくさんのご意見をいただきましたが、スペースの関係で一部のみ掲載させていただきました。ご協力ありがとうございました。



今回、中学生（全学年）と、成人を祝う会に参加した若者に「選挙に関する意識調査」を実施いたしました。この様な結果を踏まえ、将来を担う若者に政治へ興味を持ってもらう為、様々な角度からの政策を打ち出していかなければならないと強く感じました。
（宮村 尚哉）

一般質問

12月定例会では12月8日に一般質問が行われ、
3人の議員が町政について質問をしました。
内容は、質問した議員が要約し広報委員会が調整したものです。
TCVでは録画放送を行っていますので、ぜひご覧ください。

○欠端議員・・・P7

- ・北里大学、三戸畜協、田子町の三者協議協定について
- ・若者の結婚について
- ・消防団のドローンについて

○尾形議員・・・P8

- ・公共施設活用法について
- ・高等教育に向けた義務教育の在り方について
- ・観光施設活用計画について
- ・産業育成について

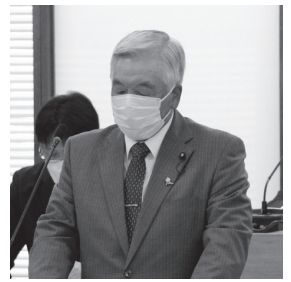
○山崎議員・・・P9

- ・燃油高騰対策支援事業について
- ・収入保険加入推進対策について
- ・若者定住・移住者促進住宅等整備支援事業について
- ・舞手集落の道路改良及び舞手橋橋梁改良について
- ・空き家の現状と対策について
- ・水道事業に関するアンケート調査結果について

質 ……質問 **答** ……答弁

一般質問って？

一般質問は、町政全般にわたり疑問点を問いただし、町の様々な仕事について報告・説明を求め、町政のチェックを行う大事な議員活動の場です。



欠端 則夫 議員

畜産業の未来のために、今!!

北里大学三戸畜協田子町の三者協定

質 今年の4月からの計画はどのようになっているか。

答 本協定では連絡推進協議会を設置することとしているが、新型コロナウイルスなどもありメール等を利用して具体的な事業を三戸畜協と大学側へ要望提出していた。全体では十五項目に及ぶ。例として受精卵技術による受胎率の向上や分娩間隔の短縮、又畜産力レッジ開催による人材育成など多数である。

質 なぜ1年間も動きが見えないのか。

答 各事業の取組方針や担当教官その割付などすり合わせ

を調整している中、新型コロナウイルスの拡大に伴い連絡会議を行うことが出来なかった。その為実施内容の調整が難航し実施が遅れている。

質 今後どのように進めていくのか。

答 新型コロナウイルスの最中で直接的な会議の開催が不透明だが緊急度と重要度などを勘案して、優先順位を付けながら計画策定を進めていきたい。そして畜産農家に対して事業内容や期待される効果などを説明し、参加を促し肉用牛の振興をより一層図っていきたい。

質 利用できる人、できない人は。

答 田子町民は全員利用できる。更に田子高原組合員の市町村も利用出来るように考えていきたい。但し経費は応分に支払いをして貰う事を考えている。

若者の結婚

質 当町で婚活イベントを行う考えは無いか。

答 八戸圏域連携中枢都市圏事業の中で縁結び事業についても取り組みがある。当町でもそれに参加しているのでその事業を使える。過去に開催された圏域事業にも田子町から数名参加した実績がある。当町では行政の立場から縁結びを推奨することの必要性は十分感じてはいるが、町独自でのイベント開催は難しく具体的な計画は出来ていない状況である。

消防団のドローン

質 雨天でも使用できるドローンを用意するべきと思うが町長の考えを聞きたい。

答 現在町では計4機を所有している。活用目的としては有事の際の消防団活動の災害調査を補完する機能としている。実際の運用に当たってはドローンパイロットの確保や各種災害時を想定した操作訓練を実施し消防団並びに関係事業者との連絡協議を得ながら運用に向けて準備を進めている。ドローンは雨や風などの悪天候により事故や故障が多く発生していることも事実である。又精密機器は雨に弱くカメラ、モーターやバッテリーの故障により墜落に繋がるとされてもいる。又雨天時における高度な操縦を要するドローンパイロットの育成強化が必要であることから、ドローン取扱業者との防災協定による応援体制の構築にも務めたい。



尾形 憲男 議員

観光施設活用の 展望を示せ

公共施設利活用法

質 2校の利活用法、並びに既存施設等（遊休施設や保育園跡地を含む）今後の運営方針。

答 2校の活用方法は、現時点で決まっていない。旧田子保育園跡地等の売却検討。今後役場庁内検討委員会を組織し検討する。

高等教育に向けた 義務教育の在り方

質 小学校の統廃合による効果、不安点、に向けた対策。高校、大学等への進学に向けた備えについて。

答 統合に向け、「田子町立小学校統合準備委員会」を設置。

通学時間の短縮を図り、安心して通学できる体制を構築。スクールカウンセラーや養護教諭等による相談体制の構築。教育支援員を統合校にひき続き配置。小学時、教育支援員及び学びのアドバイザーを配置。中学進学前の春休み期間での公営塾を実施。中学時、夏期・冬期に公営塾を開設。小・中・高への進学の入学祝い金。高校へ通ったための通学費用・下宿費用等、就学継続支援金。高校・大学進学時に奨学資金制度。保護者へ進学費用等について、早い段階での周知。広報活動にも力を注ぐ。（教育長）

観光施設活用計画

質 現在までの投資額。今後の整備計画。ロジカウベル、みろく館、創遊村、利用計画。

各施設の運営団体について。

答 現在までの投資額はロジカウベル7709万4千円。みろく館は約1億843万7千円。創遊村873万1千円。総額約1億9426万2千円。ロジカウベルは、玄関ポーチ及び事務室等の改修とウッドデッキ新設。みろく館は、隣接するコミュニティ広場の駐車場と公園整備。創遊村は、今後検討。ロジカウベルは、十和田湖周辺の周遊型観光の拠点、宿泊施設。令和5年度から通常営業。大黒森施設全体を指定管理により、運営管理を委託。みろく館は、自由に休憩できる場。通年営業。維持経費が必要な施設。将来的に観光協会へ委託。令和6年度から指定管理。創遊村は、イベント開催による観光客を獲得。運営団体は、ロジと同一。

産業育成

質 農林業の従事者を増やすことが必須。にんにく、牛の今後の展望。にんにく種子事業

の必要性。

答 農業経営基盤を支える「担い手の確保育成」に重きを置く。外部からの労働力確保や集団化への取組を検討。林業従事者は、環境譲与税を活用した町有林の整備。三八地方森林組合と協力し担い手の確保に努める。にんにくは、新たな産地戦略を策定し選ばれる産地作りを推進。肉用牛は、直接的な支援から担い手の確保と育成へと転換。種子事業は、必要な事業。栽培方法の確立に向け町が主導的に栽培を行っている。現在外部委託は考えていない。

質 畜産業の影響が大きい。また、野菜研究所の種子の情報は何を得ているか。

答 必要とあれば臨時会（補正）対応もありえる。

答 種子の情報としては、県内農家で試験栽培が始まった。（産業振興課長）



山崎 美代志 議員

抱える課題は 多岐にわたる

燃油高騰対策支援は

質 今回の町独自の燃油高騰対策は。

答 全世帯を対象に燃油券を配布することとした。1冊千円10枚綴りの券を人数が5人以下の世帯には2万円分、6人以上の世帯には3万円とし12月1日から郵送している。

収入保険加入推進対策は

質 町独自の支援策として新たに実施する収入保険加入推進対策の事業概要は。

答 加入できる方は青色申告を行っている農業者で個人ま

たは法人。補償内容は過去5年間の平均収入を基準として収入額の9割を下回った時に下回った額の9割を上限に補填し国が保険料の50%を補助する。町独自の支援内容は被保険者が支払うべき残り50%の保険料のうち掛け捨て部分の保険料と事務費の合計額に対して1年目に25%、2年目に15%を補助する。

若者定住・移住者促進住宅等整備支援は

質 住宅の建設費用の金融機関借入利息の助成または認定賃貸住宅の固定資産税を助成するこの事業を実施した経緯と今後の実施予定は。

答 アパートなどの建設に対して借入利息の助成や固定資

産税を10年間継続的に助成する。今後は必要に応じて事業の枠組みを検討する。

舞手集落の道路改良及び舞手橋橋梁改良は

質 舞手集落内にある阿部繁考商店の工場への交通量、特に大型車などの往来が多く、事故や危険性を感じるが今後、舞手集落の道路や橋を広げる考えはないか。

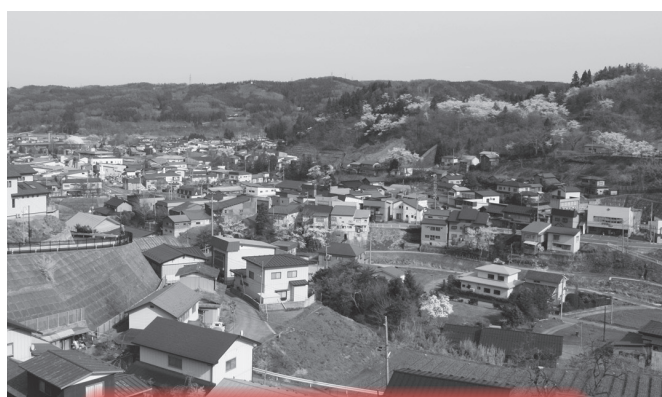
答 工場の増改築や駐車場整備などにより交通量は相当増えていると感じている。特に朝夕通勤時の国道とのアクセス集落内の狭小部や橋梁上でのすれ違いが困難な状況となっている。今後は路線の課題を整理し調査・検討を行っていく。

空き家の現状と対策は

質 古い建物の屋根や外壁が壊れたまま放置されていて危

険を感じていたり、庭の草刈りが実施されず繁茂して蜂対策など隣接する所有者が困って生活していることへの町としての現状の対応策は。

答 ここ5年で30件の助言を町から行っているが所有者から返答があったのが約半数。改善まで至ったのは全体の2割で6件。今後も行政代執行を実施するのでは無く所有者による自主的な改善がなされるよう引き続き制度の普及に努めていく。



全国的にも問題となっているが、解決の糸口が掴めないのも現実である。

議会運営委員会（議会広報編集委員会）

【構成委員】 宮村尚哉委員長 宇藤大介副委員長 尾形憲男委員
欠端則夫委員 北田騰委員

協議

○実施日 11月7日
11月7日開会の令和4年田子町議会第4回臨時会の議事日程等について。

○実施日 11月25日
12月6日開会の令和4年田子町議会第4回定例会の議事日程等について。

議会広報編集委員会
○実施日 11月25日
議会だより第114号の発行について、掲載内容と原稿を作成する担当者を決め、令和5年1月26日の発行を目標に作業を進める。

総務・文教常任委員会

【構成委員】 欠端則夫委員長 宮村尚哉副委員長 梶本義見委員
山崎美代志委員 澤口勝委員

○実施日 11月14日

教育課

英語指導助手の退職について説明があり、11月末で退職となり小・中学校への授業支援等に欠員が生じることから、県や関係団体へ要望していくと報告があった。

総務課

町有財産の状況調査について、公共施設等マネジメント推進委員会を設置し、施設の更新や長寿命化など、施設の機能を将来にわたって維持していくための検討を行うと報告があった。

政策推進課

田子町にんにく国際交流協会の運営状況についてタツコウラやガリストごはんなど主な商品の販売状況と、にんにく加工用の原材料仕入れ状況について報告があった。

住民課

地域公共交通関係は、来春の小学校統合に向けて児童の登下校に配慮した見直しについて調整を行っており、中学生の利便性の向上についても併せて検討していると報告があった。

税務課

税の徴収実績の説明があり一般税では昨年に比べ1・8%の増、国保税については同率となっており、引き続き徴収対策を講じていくとのことであった。ふるさと納税では件数、金額ともに昨年度を上回っており、特に「調理用むきにんにく」の申込みが好調であると報告があった。

産業・民生常任委員会

【構成委員】 宇藤大介委員長 尾形憲男副委員長 蹴揚清人委員
北田騰委員 澤口勝委員

○実施日 11月15日

診療所・老健施設

八戸赤十字病院との医療連携ではテスト運用していたオンライン相談について、11月から協定を締結して本格稼働を開始したと報告があった。

地域包括支援課

地域共生社会の推進における課題の解決に向け、全体会と専門部会において協議を進めていると報告があった。

住民課

新型コロナウイルスの影響により、中止していた敬老会に代えて顕彰伝達式を開催し参加者に対して、顕彰状が手渡されたと報告があった。

建設課

世紀越トネルの具現化について、本年度の主要活動の状況報告があった。

産業振興課

たっこにんにくオリジナル種子の植え付け状況と施肥試験の実施について報告があった。また、堆肥の散布状況については10月までの実績の報告があった。

商工振興課

家族のきずな便については町民から大変好評であり、12月に第4弾を実施する。みろく館の入館者数については、4月オープンから10月末までで1万6千人を超えており、順調に利用されていると報告があった。

令和4年田子町議会第4回定例会あらまし

令和4年第4回定例会
が12月6日（火）から12
月9日（金）までの4日
間の会期で開催されまし
た。
12月6日には諸般の報
告、議案の上程・説明が
されました。
12月8日の一般質問に
は3名の議員が登壇し多
岐にわたり活発な議論が
かわされました。
12月9日には、議案の
審議、陳情の付託、議員
派遣の件、各常任委員会
に係る所管事務調査の承
認が行われました。
令和4年第4回臨時会
が11月7日（月）に開催
されました。

議案番号	上程議案の件名と主な内容	議決結果
議案第47号	田子町職員の定年等に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛8・否0)
議案第48号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決 (賛8・否0)
議案第49号	令和4年度田子町一般会計補正予算（第8号）について	原案可決 (賛8・否0)
議案第50号	令和4年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）について	原案可決 (賛8・否0)
議案第51号	令和4年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第3号）について	原案可決 (賛8・否0)

※議長は採決には加わりません。

?? 請願と陳情って何??

請願

国民に認められた憲法上の権利の一つで、国または地方公共団体の機関に対して意見や希望を述べることを言い、その手続き等は請願法によります。また、地方議会に対する請願は、地方自治法及び各議会の会議規則に規定がされており、提出は紹介議員を必要とします。提出された請願は、所管常任委員会に審査を付託し、その審査の結果を本会議に報告し、議会としての採択、不採択の決定をします。採択した請願は、町長その他の執行機関に送付するに当たって、議会からの処理の経過及び結果の報告を請求することができ、議会、執行機関双方に実現への努力が要請される。

陳情

請願と同じような性格を持ったもので、様式も請願書に準ずるものですが、紹介議員を必要としないという違いがあり、また、明確な法律上の規定がないため、各議会において取り扱いが異なる場合があります。



ICTを活用した授業が展開されている

新型コロナウイルスの影響でしばらく出来なかったが、幼稚園・小学校3校・中学校・給食センターを見て回った。各所で校長・職員の説明を聞き、議会としての対応を考える際の参考とさせていただく事となる。訪問で特に感じた事は、小学生がタブレットを使いこなし楽しそうに授業を受けている風景であった。私たちの時代では考えられない事であり、この後の田子町や国に役立つ人材になってほしいと思った。どの学校・幼稚園でも子どもが生き生きとしていた事が何より嬉しかった。

(欠端 則夫)

総務・文教常任委員会活動

令和4年10月21日 学校訪問



子ども達が学びに集中できるように環境を整備していく



令和4年11月1日
世紀越えトンネル青森県知事訪問



青森県と秋田県がともに
協力して念願成就へ向けて

始まりは1990年代まで遡り、たくさんの方々の願いを込めた「世紀越えトンネル」。秋田県鹿角市と青森県田子町を結ぶトンネルは早期着工に向けて我々は様々なアクションを起こしてきました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、思うように動けない昨今ではあります。青森県知事を始め様々な方々からご指導ご鞭撻を頂き、このプロジェクトに関わってきた方々の思いをしっかりと受け継ぎ、必ずや念願成就のため秋田県や近隣市町村とともに、早期着工へ向けて取り組んでいきたいと思っています。

(澤口 勝)

産業・民生常任委員会活動

東京都中野区で、東北復興大祭典なかのから名称を変更して11回目の開催となりました。区役所正面玄関前広場では、東北6県物産のブースを設け、ご当地グルメや農水産物、工芸品を販売。タッコファーマーズマーケットも出店しにんにくや加工品、バクテー等を販売。盛況のため完売した物もあった。各種セレモニーではナニヤドヤラ保存会がナニヤドヤラ、サイノ節を披露した。田子町の踊りと物産を東京の方々に届ける機会となり、また、町出身者が郷土を思い出す場にもなった。次回、出店・出演するならばPR方法等を工夫し、田子高校卒業生にも踊ってほしく、また踊る姿を見たいと思う東北応援まつりであった。コロナ禍でも大盛況に終わり今後の在り方が見えた。出店者、出演者に感謝。

(尾形 憲男)

令和4年10月29日、30日
なかの東北応援まつり



協力隊イチョシの
バクテー（肉骨茶）は完売！！



会場のお客さんも一緒に楽しみました

適切かつ、有益な活用方法の検討を。

令和4年12月6日 現地調査
創遊村・ロジカウベル



柔軟な活用方法の
検討が求められる

整備を進めて次の展開へ

今後の動向が注視される創遊村・ロジカウベルの現地査察を行いました。冬の到来を迎え、両施設の冬期間での利活用が検討課題となっております。町内外からの来客者を増やすために町当局と管理委託会社との間で綿密な協議を行い、町の観光シンボルとしての機能向上を所望いたします。除雪が喫緊の課題であるならば、併設するスキー場との連携を模索してみてもは如何でしょうか。

(宇藤 大介)

第37回東京田子会総会及び交流会



久しぶりの再会に会話がはずみ、笑顔が溢れていました。



令和4年11月23日、3年ぶりに開催された「東京田子会」へ議長をはじめ議員団として参加してきました。役員会では「なかの東北応援まつり」の報告や、町長からは田子町の近況報告などもされました。総会には関東近県に在住する田子町出身者も多数参加され、議案が審議され可決されました。最後に産業振興課長から「にんにく生産開始60年記念PR」を含め現在、田子町の農畜産業の説明があり60周年を重要な節目と捉え、様々なイベントや施策を展開していきたいと発表があり関心を引いておりました。交流会では3年ぶりの再会に話がはずみ、大いに盛り上がり、抽選会や町長とのじゃんけん大会では田子特産の景品がプレゼントされ大いに喜ばれました。

(宮村 尚哉)

独り言とピックアップ

全員揃ったようなんです、文章の文字などの間違いをチェックしてください。●●さんの何行目の字が間違っています。××さんの繋ぎの「は」よりも「が」の方が意味が通り易いのではないのでしょうか？△△さんの文章が長すぎて記事が入りきらないです。何時も繰り上げられる編集会議の内幕です。最近とうとう句読点の問題まで出てきました。国語の先生ではないのでみんな素人です。なのでこれには困った。何とか意味が通じて喜んで見てもらえれば幸いです。

(欠端 則夫)

発行・編集責任者

議長 澤口 勝

議会広報編集委員会

(114号)

委員長

副委員長

委員

執筆協力

山崎美代志

北田 騰

欠端 則夫

尾形 憲男

宇藤 大介

宮村 尚哉